

「白堊研究Ⅱ」中間報告会用ループリック評価

	観点	A	B	C	D
プレゼンテーションにおける評価	プレゼンテーション能力	具体的な例やユーモアも交え、分かりやすく、楽しく発表をしている。	他者に理解してもらうことを意識している。工夫をして、分かりやすい発表をしている。	他者を意識している。構成を考えて発表している。	ただ発表しているだけである。報告書を読んでいるだけである。
	テーマ設定・目的	知識は高校生以上の範囲のものを活用している。	テーマにおいて、事物・現象の何を、どのように解明するのが明確である。テーマに関する知識を熟知し活用しようとしている。知識は高校生の範囲のものである	テーマにおいて、事物・現象の何を解明するのが明確である。テーマに関する知識は抑えている。知識は高校生の範囲のものである。	テーマにおいて、事物・現象の何を解明するかがあいまいである。テーマに関する知識があいまいである。知識は高校生以下の範囲のものである。
	計画性	目的達成までに起こる問題点の予測がされている。解決策を含んだ計画が練られている。年間計画も踏まえた精査がされている。	目的達成のための検討がされている。様々な工夫が練りこまれて計画が立てられている。予備実験を加えて修正が加えられている。	目的達成のための検討がされている。その上で計画が立てられている。	目的達成の道筋が明らかではない。計画が不十分である。すぐに見通しが立ってしまいそうである（研究にならない）。
	質問に対する応答	詳しく、分かりやすく回答した。	過不足なく回答した。知識も十分理解している。根拠を示して回答した。（31）	回答した。知識を理解している。	回答がうまくできない。知識が不十分である。
指導担当者による報告書等の評価	報告書形式		形式に則っており、見やすい工夫がされている。図や表が正しく表記されており、見やすい工夫がされている。他者が読みやすい工夫をしている。	形式に則っている。図や表が正しく表記されている。他者が読むことを意識している。	形式に則っていない。図や表が正しく表記されていない。他者が読むことを意識していない。
	文献調査	十分な量の先行研究や文献を調べている。既知・未知の判断ができている。十分研究に反映させている。	必要な先行研究や文献を調べている。既知・未知の判断の検討をしている。調べた内容を活用している。知識や定義に対し、複数の文献を参照し、内容の吟味をしている。	必要な先行研究や文献を調べている。調べた内容を活用している。知識・定義を押さえている。	文献調査をしていない。ある程度、文献調査をしているが活用できていない。
	読みやすさ（知識・理解・論述）		研究内容に関連する十分な知識をもっている。根拠を踏まえて考察を練って論述している。誰が読んでも理解できる文章になっている。	これまでに学習した知識を踏まえている。根拠を踏まえて論述している。文章の内容は理解できる。	これまでに学習した知識を踏まえていない。根拠を踏まえて論述していない。文章が読みづらい。
個人・グループの活動評価	研究態度		「白堊研究Ⅱ」の趣旨を理解し、自身の能力を伸ばそうとしている。主体的・積極的である。グループ研究の場合、グループの活動が活発に行われるように十分貢献している。ディスカッションにおいても、積極的な働きかけが見受けられる。	「白堊研究Ⅱ」の趣旨を理解している。協働的ではある。グループ研究の場合、自分の役割に責任を持ち、グループの活動に貢献している。	「白堊研究Ⅱ」の趣旨を理解していない。意欲的・協働的ではない。グループ研究の場合、グループでの活動に貢献していない、あるいはどのような役割を担っているか見えない。
	研究ノート の活用		文献の要約など研究に必要な知識が記載されている。研究の進め方が記載されている。タスクボードの付箋が貼ってある。その日の活動内容が記載されている。実験方法が記載されている。実験結果が記載されている。	研究に必要な知識の記載がある。研究の進め方が記載されている。実験方法が記載されている。実験結果が記載されている。	ほとんど活用されていない。実験結果が仲間との共有になっている。
	タスクボード活用		年間を見据えた計画を進めるため、タスクボードが活用されている。	毎時間、タスクボードで進捗の確認がされている。	タスクボードが活用されていない。